

皆 さん、こんにちは。ジリアンです。とても悲しいことですが、今回が私の最後のALTコラムとなります。与謝野町に来て充実した日々を過ごしていた私ですが、やはり故郷であるイギリスのことを恋しく思うことも多々あり、今秋をもって帰国することにしました。

日本に来てから私は、本当に多くの素晴らしいできごとを体験することができました。大江山では鬼と戦い、京丹後では危険なクラゲがたくさんいる海を泳ぎ、丹後地域の素晴らしい山々を登り、美しい景色を楽しみました。それ以外にも、動物好きの私にとって、日本の愛くるしい動物たちと触れ合うことができる時間はとても素晴らしいものでした。

私は与謝野町での生活と仕事をとても気に入っており、また、与謝野町の素晴らしい人々に会うことができ幸せに思っています。また、与謝野町を含め丹後地域には興味深い歴史が数多く残っており、これらの歴史を学ぶことも歴史好きの私にとって大変素晴らしい時間でした。

言葉の面においても、標準語とも関西弁とも異なる「加悦谷弁」を学ぶことは大変な反面、楽しくも

ありました。「加悦谷弁」には標準語にはないような細かな状況を伝える言葉が多く、その言葉の多彩さに驚かされました。いくつかの日本語は、私の生活の一部となりつつあります。



着物文化はとても素晴らしい日本の誇るべきものですね！

与謝野町を去ることはとても悲しいことですが、その悲しさの反面には故郷に帰れるという喜びもあります。会いたいときにはすぐに家族に会える、誕生日やお祭りを一緒にお祝いできるということは、日本に来てからの3年間ではできなかったことです。また、故郷の食事でも恋しく感じています。しかし、故郷では日本で食べたような美味しい日本食を食べることができないので、帰国したら今度は日本食が恋しくなることでしょう。

帰国を決めた私ですが、教え子たちと離れることを考えるととても辛く感じます。私の教え子たちは英語を一生懸命学んでいました。その一生懸命学んだ英語を楽しく今後の人生に活かしてもらえたら幸いです。教え子たちには大いなる可能性があり、これから素晴らしい人生が待っています。

与謝野町の皆さんが幸せでありますように、地球の反対側からいつも願っています。

時の贈り物 [第116回 ノー電気生活 ~熱帯夜を乗り切る工夫~]

三河内郷土資料室に収蔵している昔の生活道具を紹介します。

皆さんは就寝の際にどのような枕をお使いでしょうか。そばがら枕や低反発素材など、頭に優しいさまざまな素材の枕がありますが、エアコンも扇風機もなかった昔の熱帯夜には、枕でも涼を取るものが求められました。

写真は陶器の枕で「陶枕(とうちん)」と呼ばれ、頭でなく首の後ろに当てて使います。中は中空で首を乗せる部分には穴がいくつも開いており、中にお香を入れたりもできます。頭が浮くので汗ばむ顔や髪に張り付かないだけでなく、陶器のひんやりした感触で首の動脈を冷やす効果もあります。

固い陶器の枕に慣れるのは大変ですが、当ててみると実に涼しいものです。また底部が弓なりになっていて横に揺れるので、意外に思われるでしょうが多少の寝返りでは頭が転げ落ちないようになっています。

三河内郷土資料室に収蔵している陶枕(手前が空冷式健康陶枕)は古くは中国唐代のものが多いが、長い歴史の中で上絵や形状など、多様な意匠が施されてきました。写真手前のものは昭和初期の日本製で、底面に「空冷式健康陶枕」と記されています。側面にびっしり設けられた溝は、外気に触れる表面積を増やし、移った体の熱がこもりにくい造りになっています。

三河内郷土資料室では、さまざまな昔の道具に直接触れて楽しむことができます。ぜひお越しください。

入室料 一般150円
開館日 土・日曜日
(中学生以下無料)
(年末年始を除く)
(与謝野町教育委員会)



陶枕(手前が空冷式健康陶枕)

図書館へ行こう！

怖い話

夏の定番といえば怖い話はなし。怖さにも種類がありますが、図書館にはさまざまな怖い本がありますので暑さに負けないように試してみませんか？

『5分で読める！ 怖い話』

『このミステリーがすごい！』編集部/宝島社



「このミステリーがすごい！」大賞受賞者の総勢10人のストーリーテラーたちが、3から14ページの短い物語の中に描き出す生身の人間の姿は、あなたの背筋をぞくぞくさせること間違いなしです。

『47都道府県あなたの県の怖い話 全2巻』

並木伸一郎 洋介犬/理論社



全国津々浦々にある都市伝説から、実際にあった不思議なできごと、伝説やUFOといった読んでドキドキするはなしを都道府県別に紹介。私たちが住む京都府にまつわるはなしも下巻に掲載されています。

『しにがみさん(柳家小三治・落語「死神」より)』

野村たかあき/教育画劇



食べるものにも困るほど貧乏な父親に声をかけてきたのはなんと「しにがみ」。彼は仕事だといって、しにがみを追い払う呪文を教えてください。それを使って大金持ちになった父親ですが…。

『怪談四代記 八雲のいたづら』

小林凡/KADOKAWA



「雪女」「耳なし芳一」などの怪談の著者として知られるラフカディオ・ハーン(小泉八雲)。その4代目にあたる著者が家族だからこそ知り得た、ハーンや妻の日常の姿、世代をまたぐ交流をつづった1冊。

図書館からのお知らせ

8月中の課題図書

図書の取り寄せ

貸出期間 1週間

返却日にご注意ください！ ※他の本は4週間です

京都府内の図書館等からの取り寄せもできません。手元に届くまでに時間がかかる場合がありますので、お早めにお問い合わせください。



江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む 「女の大將」

■日時 8月27日(金) ※毎月第4金曜日 午後1時30分~3時
■問い合わせ先 江山文庫 ☎43-2180

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
●開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)